

公安委員会 説明資料No. 1	元内閣総理大臣に対する銃撃事件 の発生と捜査状況について	令和4年7月12日 刑事局
--------------------	---------------------------------	------------------

令和4年7月8日、奈良市内の近鉄大和西大寺駅北側ロータリーにおいて、被疑者が、演説中の安倍元内閣総理大臣の背後から銃撃し、殺害したものの。

1 被疑者

奈良市大宮町3丁目

無職 山上 徹也（やまがみ てつや） 41歳

2 被害者

衆議院議員（元内閣総理大臣） 安倍 晋三 67歳

3 事案の経過及び捜査状況

- 午前11時30分過ぎ、被疑者が、演説中の安倍元総理の背後から銃撃し、被疑者は、その場で警察官に殺人未遂の現行犯人として逮捕されたもの。
- 安倍元総理は、奈良県立医科大学附属病院に搬送されたが、午後5時3分死亡確認。死因は、左上腕部射創による左右鎖骨下動脈損傷に基づく失血死。
- 現場において手製の拳銃様のもの1丁を押収したほか、被疑者方からも手製の拳銃様のもの、被疑者使用車両から試射に使用したとみられる板等を押収。
- 被疑者は、犯行を認めており、動機について、「特定の宗教団体に恨みがあり、安倍元総理がこれと繋がりがあると思い犯行に及んだ。」などと供述している。
- 引き続き、奈良県警察において、事案の全容解明に向けて捜査を推進する。

1 設置の趣旨

今回の警護警備の体制・配置、警護措置要領、装備資機材等の問題点を早急に把握・検証するとともに、警護警備の強化に向けた見直しを行うために設置するもの。

2 構成員

チーム長：次長

副チーム長：検証担当 官房長

見直し担当 警備局長

検証班：警備企画課長（班長）、人事課人材戦略企画室長、会計課会計企画官、長官官房企画官（企画課理事官）ほか

見直し班：警備第一課長（班長）、警備第二課長、会計課装備室長、警備第一課警護室長ほか

3 検討項目

- ・ 警護警備の体制・配置
- ・ 警護措置要領（銃器への対応、強固な殺意を有する者や予兆の乏しい者への対応、緊急時の対処要領等）
- ・ 装備資機材
- ・ 能力の向上
- ・ 警察庁の関与の在り方

等について検討を行う。

4 今後のスケジュール

8月中に警護警備に関する検証・見直しの結果を取りまとめる。